

KICHIJOJI GAKUEN

KICHIJOJI



GAKUEN



吉祥寺学園中等部

KICHIJOJI GAKUEN SCHOOL GUIDE 2027



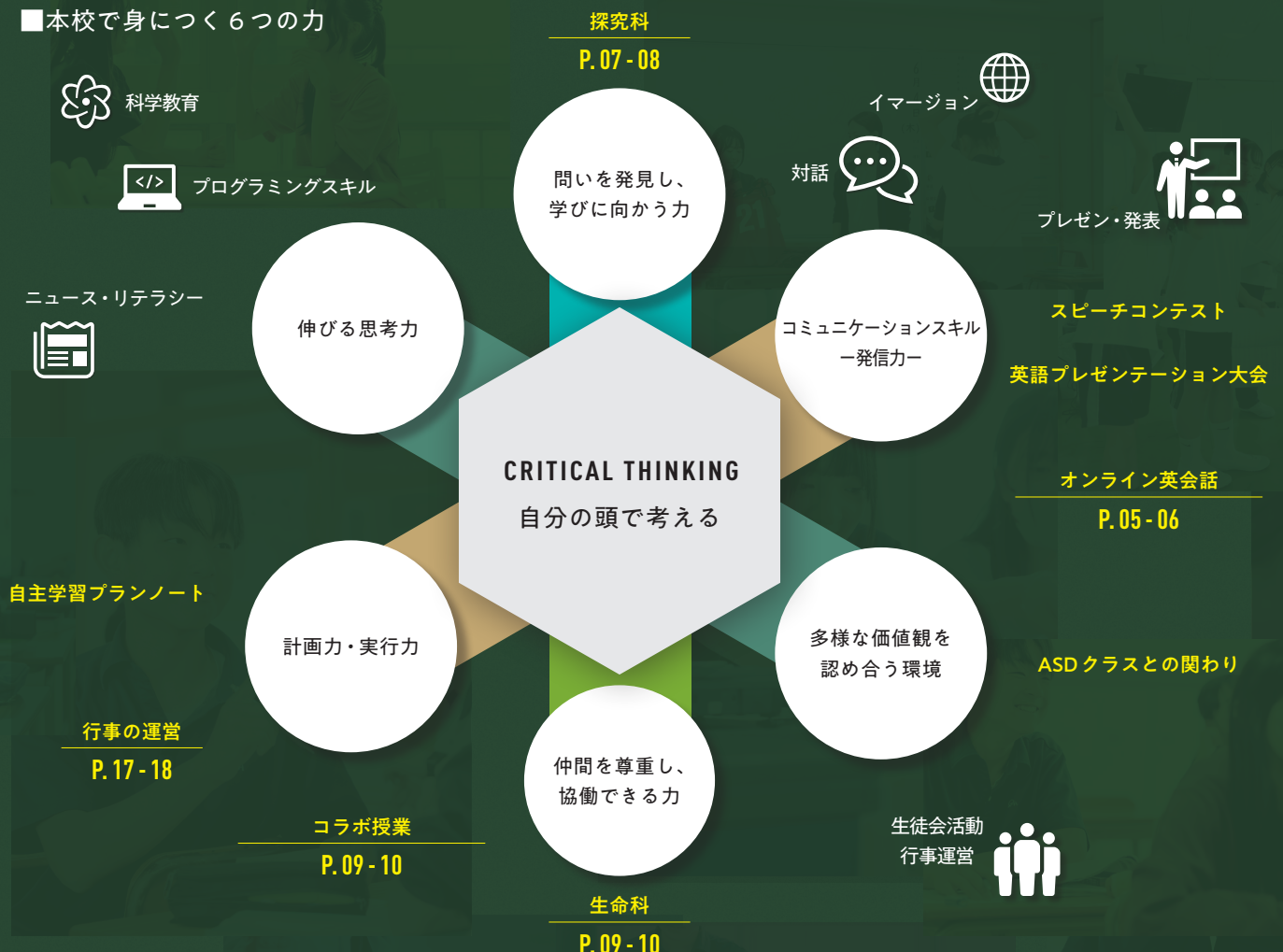
個性が交わる とき、未来が 動く。

個性は競い合うものではなく、掛け合わせることで新たな価値を生み出す力になります。多様な考えや背景を持つ仲間と対話し、協働する中で、一人ではたどり着けない未来を切り拓いていきます。

創立 1964年 幼稚園・初等部・中等部・高等専修部を設置する総合学園。中等部の開校は1983年	卒業生 3,955人 中等部(普通部クラス、ASDクラス)のべ人数	英検準2級以上取得者 約80% うち2級以上取得率は学年の約25% (中3平均)
難関校合格率 44% 偏差値70以上の難関校に半数近くの生徒が合格(2025年度)	全国サイエンスコンクール 7年連続入賞 旺文社主催の全国学芸サイエンスコンクールで探究科の作品が毎年入賞	英検優秀団体賞 6度受賞 在校生生徒数に対する英検合格者の割合が極めて高い学校として受賞
全国大会優勝回数 23回 ダンス部15回、体操競技部男女6回、陸上競技部(円盤投)2回	生徒と先生の対比 生徒 教員 5人 : 1人 全校生徒224名に対し先生42人の指導体制(2026年度)	普通部クラス男女比 男子 女子 1 : 1 多様な視点に触れ、コミュニケーション力アップ

GRAND DESIGN

■本校で身につく6つの力



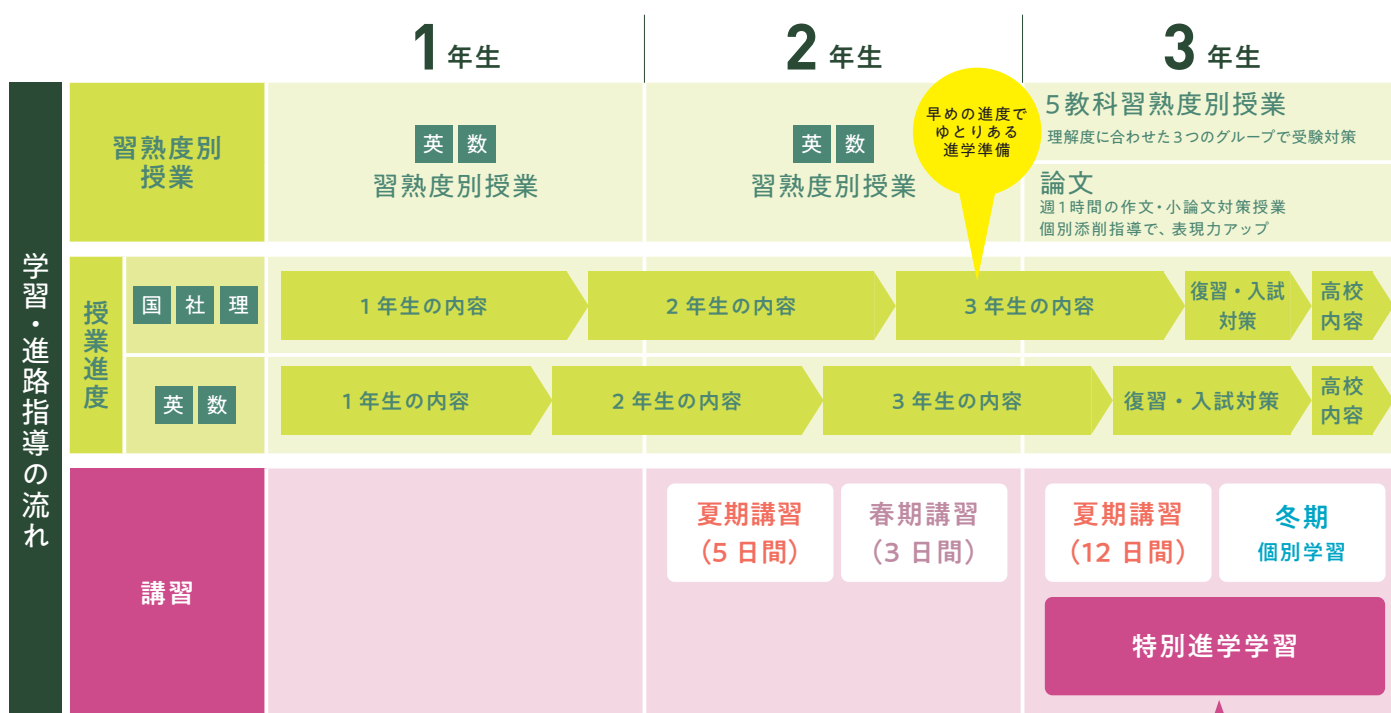
FOR THE FU

進路指導

目指す進路を実現

高校受験に挑む力を育てる校内システム

特別進学学習、習熟度別グループ学習、講習などの校内指導だけで受験に対応できる態勢を整えています。また、行事や委員会活動、インクルーシブ教育などの経験、「探究科」や「生命科」での深い思考などで養われる幅広い力は、リーダーシップやプレゼンテーション能力を問う面接や作文で大いに力を発揮しています。本校での学び・経験のすべてが、入試に向けての糧となります。



3 年生では入試対策として、週3回・放課後2時間の「特別進学学習」を全員参加で実施しています。少人数・習熟度別のグループ編成により、1 学期は3 年間の総復習と弱点補強を行い、夏期講習以降は過去問題分析や志望校対策など、一人ひとりに合わせた丁寧な指導で着実な学力向上を目指します。

主な高校合格実績



詳しくはこちら

第1志望校合格率

73% (2025年度)

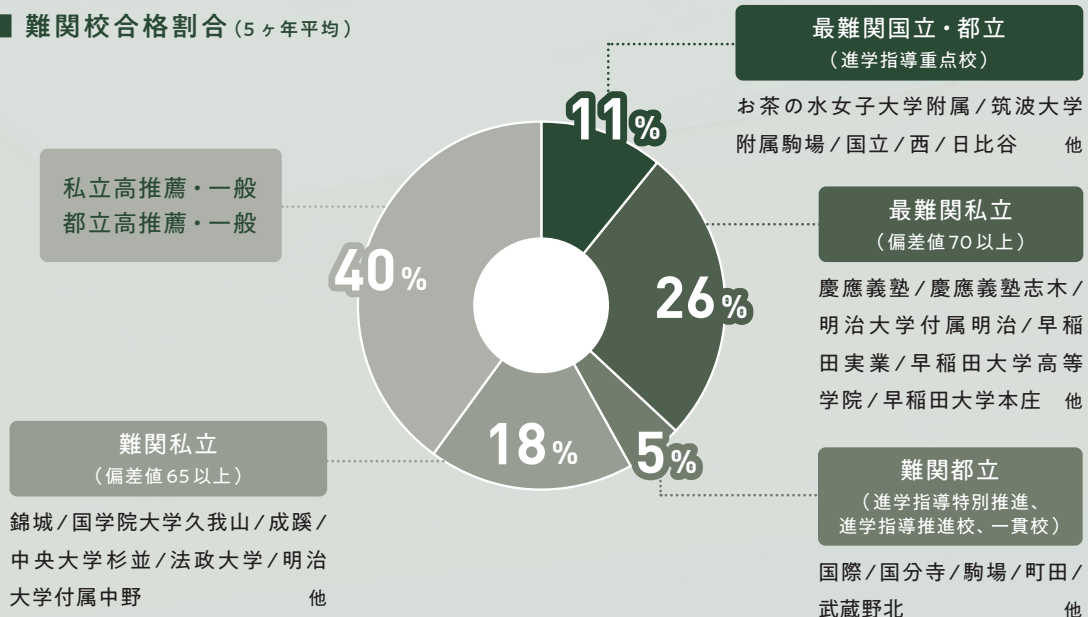
難関校合格 (SS70以上) の割合

44% (2025年度)

	2025	2024	2023	2022	2021
国立	お茶の水女子大学附属高等学校			2	2
	筑波大学附属駒場高等学校	1		1	
	東京工業高等専門学校	1		1	
都立	東京都立青山高等学校		1	1	
	東京都立国立高等学校	3	1	3	4
	東京都立国際高等学校	2		1	1
	東京都立国分寺高等学校		1	1	
	東京都立立川高等学校	7	2	2	1
	東京都立戸山高等学校	1			1
	東京都立西高等学校	4	5	2	2
	東京都立八王子東高等学校			1	
	東京都立日比谷高等学校		1	2	2
私立	慶應義塾高等学校	2			2
	慶應義塾志木高等学校		1	3	2
	慶應義塾女子高等学校			1	1
	国際基督教大学高等学校			2	4
	渋谷教育学園幕張高等学校			1	

	2025	2024	2023	2022	2021
私立	中央大学杉並高等学校	1	3	2	2
	中央大学附属高等学校			1	1
	桐蔭学園高等学校			1	
	桐朋高等学校	2		2	2
	函館ラ・サール高等学校	1		1	
	広尾学園高等学校			1	1
	法政大学高等学校				1
	法政大学国際高等学校				1
	朋優学院高等学校				1
	明治大学附属中野高等学校			1	1
	明治大学附属八王子高等学校	1		2	2
	明治大学附属明治高等学校	2	1	1	2
	立教英国学院				1
	立教新座高等学校	2	1	2	3
	早稲田実業学校	1	1	2	
	早稲田大学高等学院	2	2	1	3
	早稲田大学本庄高等学院	2			1

■ 難関校合格割合 (5ヶ年平均)



英語教育

English Syllabus

コミュニケーションの ツールとして「使える英語」 を身につける

国際社会の一員として、世界のさまざまな文化や価値観、国際問題などについて学びながら、それらについて自分の考えを持ち、発信することを目指します。目的や場面に応じて使える語彙・文法・表現のインプットとアウトプットを意識し、「聞く・話す（やり取り／発表）・読む・書く」の4技能5領域の力をバランスよく高めます。

夏季海外語学研修

夏休みに希望者を対象として、フィリピン・セブ島での一週間の語学研修を実施。英語力アップはもちろん語学へのモチベーション向上につながっています。



海外校への指定校推薦

立教英国学院、帝京ロンドン学園への指定校推薦制度があります。

STUDENT'S VOICE

週に一度の英会話を通して、英語で話すことへの苦手意識が少なくなりました。最初はうまく言葉が出ませんでした。先生との会話を重ねるうちに、自然と意思疎通ができるようになったと感じています。また、英語を話す機会が多く、学ぶだけでなく「使う楽しさ」を感じられるところが魅力だと感じています。



Research Project

STUDENT'S VOICE

中学生になるまで、英語学習は本格的には行ってきませんでしたが、授業内での音読活動やオンライン英会話、WIT に取り組む中での語彙力アップなど英語力に自信ができました。街で外国人に話しかけられても、楽しんでコミュニケーションをとることができます。また英検の合格も大きな励みになり、常に上の級を目指して取り組んでいます。

■ 学びのポイント

1.

■ 音読を通して4技能5領域を習得

授業ではさまざまな音読活動することに重点を置いています。声に出すことで「話す」「聞く」はもちろん英語の語順に慣れることが「読む」「書く」にも大きくつながります。

2.

■ 常駐ALTとの交流

授業はもちろんHR クラスに入ることもあり、清掃や給食、休み時間などを一緒に過ごします。校舎ですれ違うと気軽にコミュニケーションをとり、英語を使うことが身近に感じられる環境です。

3.

■ オリジナル英単語テストWIT

WIT [Word Improvement Test] は年に8回、全校生徒を対象に実施する本校オリジナルの英単語テストです。問題は15段階に分かれ、合格すると次のGradeに進む進級式で、英検準2級以上の語彙にも対応しています。

4.

■ TOKYO GLOBAL GATEWAYでの一日体験

東京都が設置している英語村TOKYO GLOBAL GATEWAYのプログラムに参加し、英語漬けの体験をすることで、英語を「使う」楽しさを味わい、モチベーションを向上させています。



PICK UP CLASS

オンライン英会話

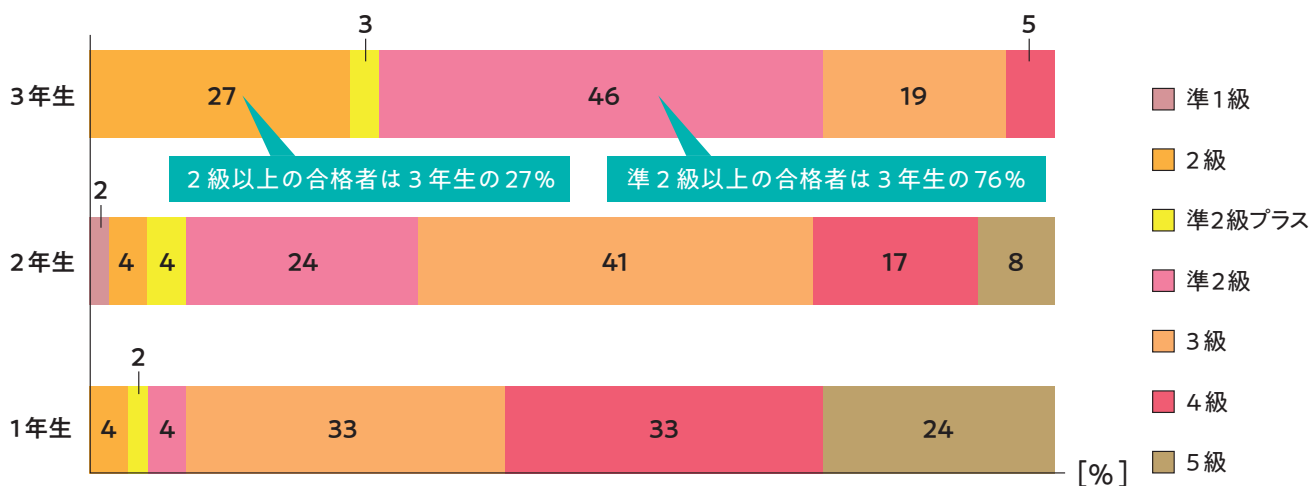
週1時間の英会話の授業はオンラインで海外にいる外国人講師とマンツーマンで実践的にを行います。発音や文法の細かい部分までフィードバックがあり、より自然な会話力を身につけることができます。

■英検合格取得率

英検は年に3回、校内を会場として実施しています。毎年、卒業時には3年生の約80%が準2級以上に合格、約25%が2級以上に合格するなど顕著な成績を収めています。また英語科の先生が二次試験の口頭練習や英作文の添削指導などを行いサポートしています。



取得率の高さが評価され、
日本英語検定協会より
優秀団体賞【取得率部門】を6度受賞。



■習熟度別の授業

英語の授業は1年次より3つの習熟度グループに分かれ、少人数で授業を行います。自分のレベルに合ったグループで、のびのびと学習ができます。定期テストの度にグループの再編成を行うため、学習へのモチベーション向上にもつながっています。

EEコース（特別コース）

EEはExpert in Englishの略。英検2級以上の取得を目指し、高校範囲など発展的な内容にも取り組む中で、文字通り英語のエキスパートを目指します。

Aグループ

Advanced（発展）グループ。卒業時に英検準2級以上取得を目指します。

Iグループ

Intermediate（中級）グループ。着実に基礎を身につけ、力を伸ばしていきます。

探究科

Research Project

探究科が目指す

「学びの質的な変換」

中学生という大人の入り口に立った年齢で、「人はなぜ学ぶのか」という命題に向き合う機会を持ち、学ぶことの意義を知り、学ぶための方法を身につけていくことは、長い人生を深く豊かに生きていくために必要なことです。生涯の学びを支える基礎としての教科学習を土台とし、自分が欲する学びを達成するために必要なものを自ら求めて取り組んでいくという「学びの質的な変換」を促す、それが「探究科」の目的です。

表現し、訴求する

批評と検証、「問い」の解決

情報の収集と分析・知識・技能の活用

「問い」を見つける

基礎力（知識・技能）

TEACHER'S VOICE

探究科で大切にしていることは「問い」を立て、独自の解決策を見出していくことです。「問い」を立てるとは、「疑問を持つ」「課題を考える」こととつながります。VUCA と呼ばれるこの時代に求められる力は、「パターンの決まった問題を解く力」ではなく、自ら「問題・課題」を創出し、独自のアプローチで解決に向かっていく力です。本校の探究科は1年生ではゼミ単位で、2年生には個人で「問い」に取り組めます。興味関心のあるテーマから派生した「問い」に取り組むことで、これらの力が養われています。



Research Project

STUDENT'S VOICE

探究科では自分の興味・関心のある分野をとことん突き詰めていくことができます。調べていくうちに新たな問いが生まれ、探究が広がっていくことも面白さの一つです。自分の探究がだれかのため、何かのためになり、社会貢献につながっていくことも目標の一つです。

■全国学芸サイエンスコンクール(旺文社主催)の成果

■全国学芸コンクールの成果



2025年

社会科自由研究部門
入賞(2作品)
・「情報の真実」～情報リテラシーを高めよう～
・NEW ヘルプマークを作る!!
母から見たヘルプマーク

2024年

社会科自由研究部門
学校特別奨励賞(学校として受賞)
入賞(1作品)
・日本語の美しさ

2023年

社会科自由研究部門
入賞(2作品)
・オノマトペの可能性
～コミュニケーションからの応用～
・色で変わるポスターの印象

2022年

社会科自由研究部門
銀賞(1作品)
・イヤークワームを起こしやすい曲の作り方
入賞(1作品)
・色彩計画を利用し様々な建物にあう色を考える

2021年

理科自由研究部門
審査員特別奨励賞
・環境型社会に直接貢献するリサイクル～リサイクルに特化した傘を作製する～
社会科自由研究部門
学校特別奨励賞(学校として受賞)
銅賞(1作品)
・新時代の女性像を探る
～ディズニープリンセスの分析を通して～

2020年

社会科自由研究部門
銅賞(1作品)
・日本の航空機開発!! MRJ開発は成功するか!?

2019年

理科自由研究部門
入賞(1作品)
・資源の活用とエネルギー
社会科自由研究部門
入賞(2作品)
・命に係わる!? 食品添加物
・プライベートブランド(PB)商品の浸透とこれから



PICK UP CLASS

学園祭で成果発表

学園祭では全員が探究科の成果をスライドを用いて発表します。1年生はゼミ、2年生は個人探究の発表です。生徒自身も興味のある発表を聞き、自分の糧にすることができます。保護者からの質問も可能で、新たな疑問は解決し、ブラッシュアップをして最終提出に備えます。

■ 探究科の流れ

入門（1年次5月～6月）

専用のテキストを使って「問いの立て方」「テーマの決め方」「リサーチエスション」「計画の立て方」などの考え方の基礎や調べ方の基礎を学びます。



基礎（1年次7月～11月）

興味のあるゼミを選択し、専門の教員が出す課題を通して探究の基礎力を養います。ゼミごとに学園祭で展示・プレゼンを行います。



実践（1年次12月～2年次8月）

自分の興味あるテーマを設定して探究します。外部コンクールへの出品、11月学園祭での展示・発表が目標となります。作品は選考を行い、特に優秀な作品は表彰します。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学年		入門 （ガイダンス） 探究の手引き		基礎 ゼミごとの課題で探究活動 学園祭での展示・発表						実践Ⅰ 個人研究テーマ決定／経過報告会 アドバイザーによる指導		
2学年		実践Ⅱ 経過報告会／アドバイザーによる指導					仮展示 コンクールへの出品		学園祭での展示、 プレゼン 優秀作品の選考		優秀作品 プレゼン テーション	

生命科

Life Studies

答えのない問いに向き合う

「自分の存在の重さを知り、他の人の命の重さも感じることで生徒」であることを願い、本校独自の教科として位置付けています。週1時間、3年間の授業で、友達や家族など、身近な人とのつながりから、将来のこと、過去の戦争や現在世界で起きている事象、命の大切さなど、幅広いテーマについて正面から向き合い、発表や意見交換をします。決まった答えのない事柄について、生徒と先生が共に考えを深め、心を耕す有意義な時間です。これからの人生を送る上での基礎となっています。



Research Project



STUDENT'S VOICE

授業を通して、自閉症の友達も私たちと同じように長所や短所と向き合いながら生活していることを学びました。相手を特別視するのではなく、一人ひとりの個性として理解できるようになりました。また以前は疑問に感じていた行動にも意味があることを知り、「問題」ではなく「表現の違い」として捉えられるようになりました。



コラボ授業

Collaboration Lessons

知識をつなげ思考力を伸ばす

ある単元において、複数の教科がそれぞれの専門性を活かして一緒に授業を展開するのが「教科横断型」(通称「コラボ授業」)です。学問の面白さは、それぞれの教科で学んだことが結びついていくことにあり、この授業によって今まで分立していたもの、知識がつながって見えてきます。教員同士が話し合い、さまざまな発想から新しい試みが次々と生まれていくのもこの取り組みの魅力となっています。



Research Project



コラボ授業実施例

- 数学×社会
 - ・時差の計算と正負の数
 - ・箱ひげ図で見る日本の気候
- 音楽×社会
 - ・バロック音楽とイタリアの気候
- 技術家庭×保健体育
 - ・理想的なコンディションを作る食生活
- 数学×美術
 - ・黄金比と白銀比
 - ・座標でアート!
- 音楽×保健体育
 - ・走る速度と音の関係
- 英語×国語
 - ・短歌を TANKA に
- 数学×理科
 - ・等加速度直線運動のグラフが表すものとは?

■ カリキュラム

1 年	2 年	3 年
友愛、SDGs、生命、将来観	共生社会、国際理解、命の尊厳 将来観、ニュース・リテラシー	平和、死生観

■ 学びのポイント

授業例

1 年	2 年	3 年
将来観 「働くことに対する価値観」 将来「働く」上で、自分が何を大切にしたいか、「高収入だが、一番やりたいことではない仕事 or 収入は高くないが、本当にやりたい仕事」のように、価値観を問う 2 択で考えます。次に自分の意見と理由を書いた後、グループで話し合いました。友達に考えを耳を傾けるうちに、「働く」ということが、より現実味をもって感じられたようです。	ニュース・リテラシー 「ニュースを作る」 あるニュースについて、自分で新聞記事を書く活動を行いました。まず、提示された数種類の見出しのうちの 1 つをもとに、見出しにあった内容の記事を書きます。次に、見出しは隠してワークシートを交換し、書き手がどんな視点で書いたのか、班で話し合ってみ出しを推測します。ニュースは書き方によってさまざまに受け取られることを再確認できたようです。	平和 「長崎原爆と平和」 外部講師をお招きして、被爆された方の身内の方が描かれたという挿絵とともに、当時の様子をお話いただき、被爆者の痛切な思いを感じることができました。現在も世界では戦争がおきているという現実にも目をむけ、他人事ではなく、小さなことでも自分たちができることは何か、を考える時間にもなりました。

生命科の授業では、いじめや SDGs について学びました。映像教材を通して、いじめが起きたとき自分に何ができるのかを深く考えるきっかけになりました。また、SDGs を掲げる企業にもさまざまな意図があることを知り、目に入る情報だけでなく、物事を多面的にとらえることの大切さを学びました。



平和の単元では、被爆者が受けた被害だけでなく、原爆が作られた背景や当時の人々の思いについても詳しく学びました。深い内容まで知ることで、戦争や原爆に対する考え方が大きく変わったと感じています。また、人との関わりや日本の立場について幅広く学ぶ中で、「生きること」や「死」についても深く考えるようになりました。



■ コラボ授業実施具体例

英語×国語 短歌を TANKA に

自分で作成した短歌を英訳します。ALT の先生から詩の書き方、楽しみ方について説明を聞き、押韻、ビート（拍子・リズム）の技法も理解しました。生徒の作品例：「登下校 毎日通る 友の横 かがやく光色 いろいろ」→ The color of my friend's face changes every day as I walk to and from school

社会×音楽 バロック音楽とイタリアの気候

ヴィヴァルディの「四季」より「夏」を聴き、社会科で学んだ気候の知識を活用して日本とは異なるヴィヴァルディの描いた「夏」の風景を読み取ります。社会的側面から曲への理解を深めていく大切さ、おもしろさを知る機会となります。

数学×美術 座標でアート！

指定された座標 2 点を直線で次々と結ぶと「包絡線」とよばれる曲線が浮かび上がることを作図を通して理解し、この美しい曲線が、古代の建築物から現代のキャラクターデザインまで幅広く応用されている例を知ります。

理科×社会 季節風と気圧配置

日本の気候と気圧配置などを調べ、季節風はなぜ起きるのか、そしてその季節風が日本の風土にもたらすものは何なのかを知る機会になります。

STUDENT'S VOICE

技術家庭科×理科のコラボでは、実際にイカをさばく実習を行いました。教科書だけでは分からない体の構造や色彩を学ぶことができ、理科で学んだ知識が家庭科の調理実習につながっていることを実感できた印象に残る授業でした。



TEACHER'S VOICE

社会科はさまざまな視点から事象をとらえることが大切です。コラボ授業で数学や理科、さらには音楽など一見関係のないような教科の観点を合わせることで、理解が深まるとともに、新たな発見にもつながっています。複数の先生による掛け合いを生徒たちも楽しんでいます。



ASD クラス

ASD Class

将来の社会生活のための 基礎とキャリア教育の出発点

ASDクラスでは、将来社会に出て自立して活動できることを視野に入れた教育を行っています。中学生年齢にあたる12歳から15歳では、身体の変化と成長にともなってバランスのとれた精神的な成長を促していくことが大切です。発達には個人差があり、成長の度合いや意識も異なります。それぞれの違いを認めつつ、大人が子どもとの適切な距離をとりながら将来の社会生活を視野に入れた適切なサポートをしていくことで、子ども自身の自立意識を高めます。

ASDクラスの目指すもの

カリキュラムは、「体験的・実学的内容」と「個に応じた習熟度別の教科授業」を重視しています。これは「キャリア教育」の出発点、自立した人生の基礎に位置づけられます。

実生活に即した経験の拡充

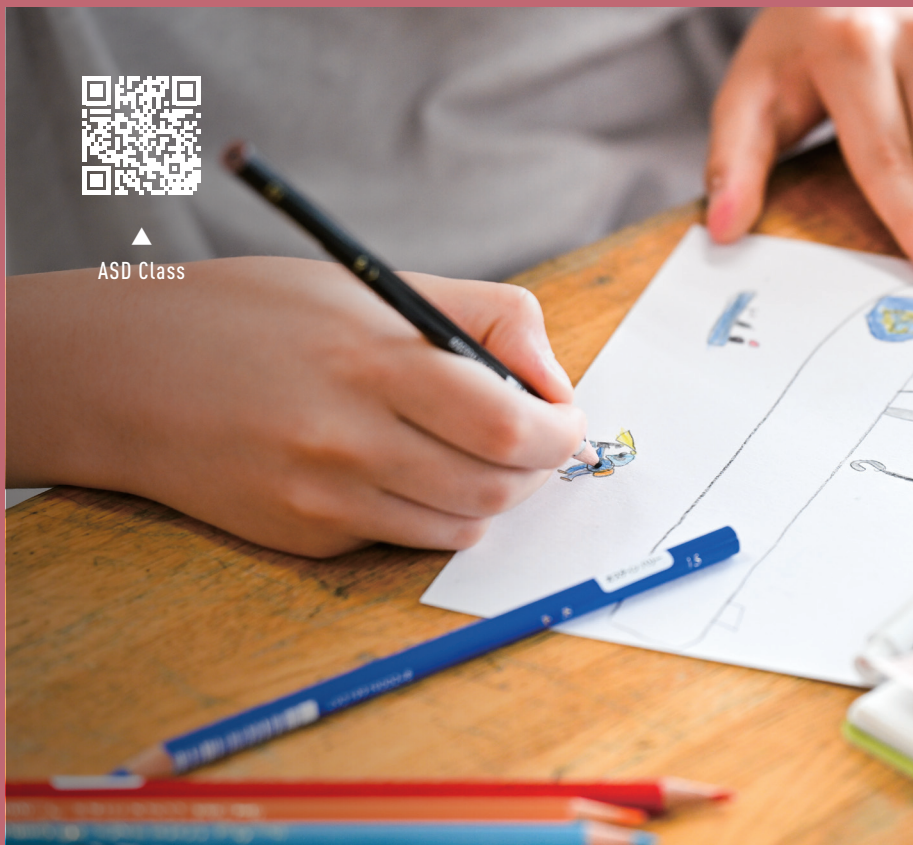
思春期を迎える時期の情緒の安定

TEACHER'S VOICE

ASDクラスには独自のこだわりを突き詰める生徒やまっすぐで誠実な生徒がたくさんいます。多様な個性と向き合い、小さな成長を喜びながら教員としての充実感を実感する毎日です。本校の強みは、多彩な仲間がごく普通に学校生活を共にし、コミュニケーションをとることができることです。集団のルールを学びながら、自分らしさを見つけ自信をつけています。互いの努力を尊重する温かい校風の中、この「他者と協働する経験」を重ねることが、将来子どもたちが多様な社会へ自立していくための力強い土台になると信じています。



ASD Class



■ 学びのポイント

■ 学園独自のASD教育

1.

生活自立を目標とするASD児に対し、本学園は「体力づくり・心づくり、知的開発」を柱とする教育を行っています。できないことの矯正ではなく、できることを見出して伸ばし、時間をかけ繰り返し習慣づけを行うことで、社会生活への適応と自立を促します。

■ ASD児の集団教育

2.

本校のASDクラスは10~12名で集団教育を行い、必要に応じて個別対応をすることで教育効果を高めています。すべての授業に複数の指導者を配置し、連携して子どもたちの社会性と学びを育む環境です。

■ 学校⇄保護者の密な連携

3.

学校と家庭がオンラインで情報共有を行い、一丸となって生徒の成長を支えます。また生活自立に向けて分野ごとに細分化した個々の目標設定を行い、振り返りを行うことで着実にステップアップしていきます。保護者様向けの研修を開催するなど、充実したフォローアップ体制も整えています。

■ 高等専修部への内部進学制度

4.

併設の高等専修部への内部進学を推奨しています。幼稚園から続く一貫教育の集大成として、一人ひとりの特性に寄り添いながら自立への歩みを力強くサポート。社会へ自信を持って羽ばたいていけるよう、実践的な学びと豊かな経験を積み重ねていきます。



PICK UP CLASS

1～3学年（ASDクラス）合宿

年に1回、全ASDクラスで2泊3日の合宿を実施し、身辺自立や集団行動、一次産業体験学習などを行っています。行き先や体験内容は毎年変わり、3年間を通してさまざまな経験ができます。

■ ASD クラス週配当時数

1 学年	習熟度別の学習				音楽 (2)	体育 (3)	合同体育 (1)	美術 (2)	体験的・実学的内容			HR (3)
	国語 (3)	数学 (3)	英語 (1)	一般 (3)					生活教養 (2)	体験実習 (2)	技能 (4)	
2 学年	習熟度別の学習				音楽 (2)	体育 (3)		美術 (2)	体験的・実学的内容			HR (3)
	国語 (4)	数学 (3)	英語 (1)	一般 (3)					生活教養 (2)	体験実習 (2)	技能 (4)	
3 学年	習熟度別の学習				音楽 (2)	体育 (3)		美術 (2)	体験的・実学的内容			HR (3)
	国語 (4)	数学 (3)	英語 (1)	一般 (3)					生活教養 (2)	体験実習 (2)	技能 (4)	

授業には複数の指導者が入り、手厚くサポートにあたっています。

※ 授業時間は、1校時45分間です。

■ 習熟度別の授業

「国語」「数学」「英語」「一般」は3つの習熟度別コースに分かれます。
カリキュラムは基礎学力をつけるとともに、実生活に関連した内容で編成しています。



国語

会話や聞き取り、実生活に即した内容も扱います。音読や、ロールプレイによる場面に応じた会話の練習などを取り入れることで、コミュニケーション力の強化につながります。



数学

日常生活に結びついた数学的概念（お金、時間等）の理解を深めるとともに、数量や図形についての見方や考え方を学び、処理できる能力を養います。

ASD クラス

— ASD Class —

■ 体験的・実学的内容

「体験・実習」の授業

実生活や社会生活に必要な体験内容で編成しています。ASD クラスの担任と、実習の分野は技術・家庭科担当も加わって指導します。

〈1年生のカリキュラム例〉

「体験」の分野



買い物（買い物リストの利用、品物の選び方、お金の計算と支払いの手順、スーパー・個人商店・コンビニの利用）、公共施設の利用（江戸東京たてもの園）、余暇の過ごし方（レクリエーション）など。

「実習」の分野



被服（運針・玉止め・玉結び、ふきん制作・刺し子仕上げ、アイロン）、調理（身支度、卵を割る、おにぎり、包丁とピーラーの使い方）、木工の基礎、情報モラルなど。

「技能」の授業 切り絵／陶芸／クラフト／器楽／コンピュータ

技能の習得を通して作業への集中力を養い、作業的な手順を身につけ、各自が自立して責任を果たすなど、高等専修部に向けての初段階トレーニングを行うことを目的としています。5つのコースから選択します。活動は3学年合同で、年度ごとに選択コースを変えることが可能です。



切り絵

カッターを使って小さく簡単なものから、細かい線を含んだ大作まで仕上げます。



陶芸

粘土を成形して窯で焼き、カップや皿などを制作します。学園祭での販売も行っています。



クラフト

アイロンビーズやステンドグラスを加工し、小物入れや調度品を制作します。



器楽

ギターなどの楽器で、さまざまなジャンルの曲を演奏します。学園祭での発表も行います。



コンピュータ

文書作成や画像編集アプリを使った基本的なスキルを身につけます。

■ コミュニケーションスキル、ソーシャルスキルの向上と教養分野の充実

「国語」の授業における“会話”のカリキュラム

コミュニケーション力の強化

習熟度別コースごとに教科書の単元に沿った内容の他、会話や聞き取り、実生活に即した内容を扱います。特に2・3年生では週4時間の中で音読や、ロールプレイによる場面に応じた会話の練習などを取り入れることで、コミュニケーション力の強化につなげます。

〈会話〉の目標

1年生

生活会話の充実

2年生

物事を説明する

3年生

敬語、聞きとり

「一般」の授業

教養分野の充実

「社会」や「理科」の内容を扱います。習熟度別コースごとに、小学校または中学校課程の内容から年間のカリキュラムを編成します。中学生までに知っておくべきことや、将来の社会生活に役立つ内容を反映させます。

〈1年生aコースのカリキュラム例〉

「理科」の分野



- 植物の世界
- 身の回りの物質や現象
- 大地の変化

「社会科」の分野



- 日本の地理・気候
- 地図の読み取り
- 都道府県ごとの特色

「生活教養」の授業

教養分野の充実

生活に結びつく実学的内容や紙折り、製本などの手作業を行うとともに、ソーシャルスキルトレーニングを通して場に応じた適切なコミュニケーションや社会のルール・マナーについての理解も深めていきます。

〈1年生のカリキュラム例〉

基本的作業



- 整理整頓
- 衣服の管理
- 清掃のスキル

社会的自立作業



- 紙の二つ折り
- 四つ折り
- ビス・ナット止め
- 10の束と箱詰め

コミュニケーションスキル

- 場の状況を判断する
- 場に応じた答え方(挨拶、返事、お礼、謝罪)
- 相手の気持ちを考える

■ 宿泊を伴う校外学習

3年間で計7回、宿泊での校外学習を行います。校外での体験や見聞を広げるといった一般的な校外学習の目的他に、親元を離れて自分で身の回りのことを行い、班やクラス活動で自分の役割を果たすなど、自立を目指した活動も重視しています。校外学習に向けては、身辺自立や荷物管理についての確認など、ご家庭のご協力も重要となります。

■ 普通部クラスとの関わり

学校生活全般がインクルーシブ教育の場となっており、普通部クラスはASDクラスと学校生活のいろいろな場面や行事で関わり合います。生徒会の各委員会には全員が所属し、学校行事や校外学習でも共に活動しています。

■ 普通部クラスのカリキュラムへの参加

ASDクラスの生徒の個々の適性に応じて、一部の教科の授業や日々のクラス活動など、ASDクラスに在籍のまま普通部クラスのカリキュラムへ参加することがあります。これは、より大人数の集団における経験や指導を目的として行うものです。参加する教科や期間については担任と教科担当を中心に検討し、ご家庭と本人に伝えていきます。

■ 全国中学校陸上競技選手権大会
入賞(9種目)

■ 全国ジュニアオリンピック
陸上競技大会
優勝、入賞(13種目)

■ 38年連続都大会進出
22年連続関東大会進出

■ 2024年度 国民スポーツ大会
女子円盤投優勝

■ 2024年度 全日本ジュニア
オリンピックU16陸上競技
選手権大会
女子円盤投優勝

陸上競技部

体操競技部

部活動

■ 全国中学校体操競技選手権大会
総合優勝男子4回 女子2回

■ 全国中学校体操競技選手権大会
女子個人総合優勝2回
(東京オリンピック銅メダリスト 村上 茉愛さん)

■ 関東中学校体操競技選手権大会
男子団体優勝4回 女子団体優勝2回



Club Activities

ACTIVITIES

ダンス部

- 全国中学校・高等学校ダンスコンクール
第1位15回
- 東京都中学校創作ダンスコンクール
優勝8回
- 東京都中学校ダンス選手権大会
優勝27回
- 東京私立中・高創作ダンス発表会
最優秀賞15回
- 東京都ダンス競技会新人戦
優勝21回



バスケットボール部

野球部

テニス部

サッカー部

卓球部

吹奏楽部

美術部

同好会

科学研究同好会

ESS



年間行事

SCHOOL

4

April

- 入学式
- 全校顔合わせ
- テクノロジー探検隊(希望者)

5

May

- 清里合宿(1学年)
- 長崎修学学習(3学年)
- トーハク探究ビジット(2学年)
- 球技大会

6

June

- 授業公開
- 合唱コンクール

7

July

- 1～3学年 CDE合宿(ASDクラス)
- 夏季海外語学研修(希望者)
- 夏期講習(3学年)

8

August

- 夏期講習(2・3学年)
- テクノロジー探検隊(希望者)

9

September

- 京都奈良学習(2学年)

10

October

- スポーツ大会
- トーハク探究ビジット(3学年)

11

November

- 学園祭
- 美術館見学講座(希望者)



School Events ▶





東京国立博物館との パートナーシップ提携！

全員が毎年訪問して国宝や重要文化財を鑑賞。
訪問前には出前授業でトーハクの見方も学習。



芸術トリエンナーレ

音楽や日本の伝統芸能などを3年周期
で毎年鑑賞し、多様な体験から教養を
深めます。



EVENTS

自由参加型講座

サイエンスラボ/ テクノロジー探検隊

「サイエンスラボ」は大学や研究所の先生による出張授業を受けたり、最新科学の研究施設を訪問し、実験をしたりする講座です。「テクノロジー探検隊」は科学館などの施設を訪ねる体験型イベントです。

美術館見学講座

本物の絵画や彫刻などを間近に見ることにより、教科書では味わえない魅力や感動に触れることができます。近年は東京国立近代美術館や国立西洋美術館を訪れています。

12

December

- 芸術トリエンナーレ
- TOKYO GLOBAL GATEWAY 語学研修(1・2学年)
- 授業公開
- 冬期講習【個別学習】(3学年)

1

January

- トーハク探究ビジット(1学年)

2

February

- 発表会

3

March

- 箱根学習(1学年)
- 英語プレゼンテーション発表会[EP Showcase]
- スピーチコンテスト
- 卒業式



FACILITIES

施設紹介



図書室



パレツトルーム



屋外テラス



理科室



カームダウンルーム



体育館外観



スタジオ



体育館メインアリーナ



体育館地下サブアリーナ



アミティエホール

SCHOOL LUNCH

給食紹介

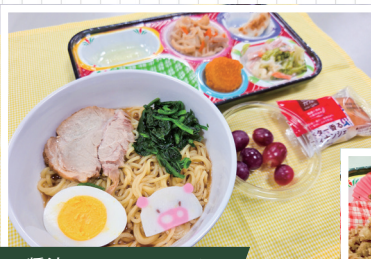
毎日美味しい
ランチを食べる
のが楽しみ！



月に一度のスペシャルランチ



ヒレカツランチ



醤油ラーメンランチ



肉うどんランチ



夏野菜カレーとナンランチ



ミックスフライランチ



SCHOOL UNIFORM

制服紹介

校内での
服装は自由！



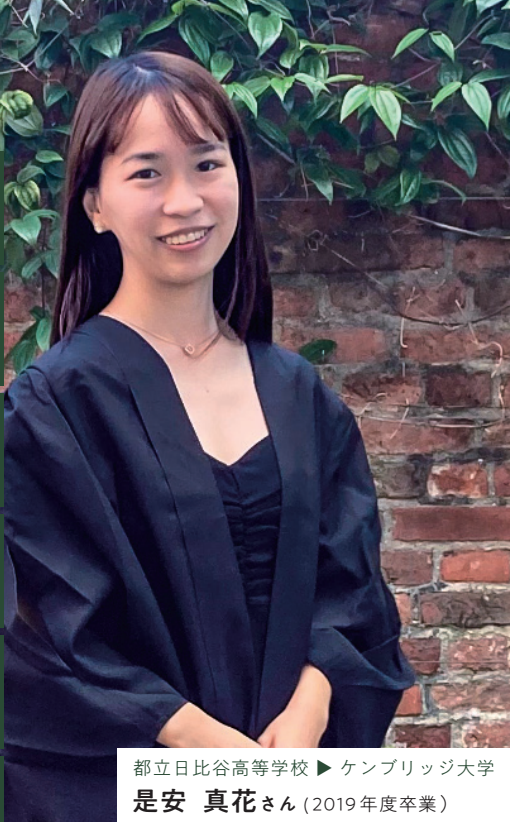
冬服



夏服



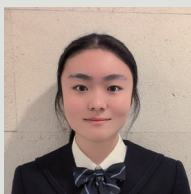
未来に輝く先輩たち



都立日比谷高等学校 ▶ ケンブリッジ大学
是安 真花さん (2019年度卒業)

世界へ踏み出す力をくれた3年間

私は高校2年生の夏から単身でイギリスへ留学し、現在は英国のケンブリッジ大学で自然科学を学んでいます。帰国子女ではない私が海外へ挑戦しようと思ったのは、中学校で経験した「英語を使う授業」があったからです。特に印象に残っているのは、英語でニュースを聞き、内容を推測する授業です。最初は全く聞き取れませんでした。少しずつ理解できるようになることが楽しく、自分の成長を実感しました。また、中学校では「自分の考えを伝える力」も身につきました。スピーチコンテストや特別進学学習では、自分の意見を分かりやすく論理的に伝える力が求められました。中でも、「自分の腎臓を売ってもよいか」という答えのないテーマについて討論した授業は強く印象に残っています。友人たちの論理的な意見に刺激を受け、自分自身も深く考える力を養うことができました。現在、大学では多くのエッセイ課題がありますが、中学校で学んだ論理的な考え方が大きな支えになっています。そして、私を最も成長させてくれたのはダンス部での経験です。努力を続ける力、仲間を信じる力、粘り強く挑戦する姿勢は、今の自分の自信につながっています。留学生活では苦労も多くありますが、中学校時代の経験が、困難に向き合う力を与えてくれています。これからも多くの人と関わりながら学びを深め、誰かの力になれる人でありたいと思っています。

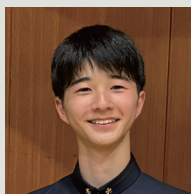


明治大学付属
明治高等学校

杉山 美織さん

私は、一人で勉強している時はなかなか集中が続かず、テスト前になってやる気が起きないことがよくありました。しかし特進のおかげで、私の勉強への姿勢は大きく変わりました。3年生になり特進が始まると、全国のような学校の過去問を解き、点数が悪くて落ち込むことも多くありましたが、友人と問題を解き直したり教え合ったりする時間は、今でも楽しい思い出として残っています。また、普段の授業よりも生徒同士の意見交換の時間が増え、自分と相手の解法の違いに驚いたり、そこから新たな発見をしたりすることで、自分の問題へのアプローチの仕方に良い影響がありました。私は特進を通して、自分一人で黙々と問題を解くだけでなく、他人と対話しながら勉強することの楽しさに気づくことができました。難しく挫折しそうな時も、仲間と共に乗り越えられる特進は、とても有意義な時間になりました。

仲間と切磋琢磨した特進



都立国立高等学校

堤 光太郎さん

私はこの中学校での3年間で、特に行事を通して成長できたと感じています。中でも、私が最も好きだったのは球技大会です。1、2年生の時は、打倒先輩で学年全体が一丸となって戦います。また、3年生になるとクラスで団結し、総合優勝を目指します。学年やクラスの中で絆を深めるいい機会になり、何よりとても楽しかったです。そして私はスポーツ大会でチームリーダーを務めました。スポーツ大会では、クラスや学年の垣根を越えて一つのチームとなって優勝を目指します。そのため、チームリーダーとして活動する上で、全員をまとめていくのは非常に大変でした。しかし、仲間たちと協力し、他学年との交流も深めながら優勝を目指したことは、とても良い思い出になりました。この中学校には他にもたくさんの行事があります。一つひとつに全力を尽くし、積極的に参加していくことで大きく成長できました。行事を通して得たものは、今後の人生にも残り続けていくと思います。

行事で掴んだ成長と絆

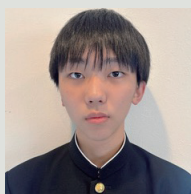


都立戸山高等学校

末永 光さん

私は吉祥寺学園中等部で過ごした3年間でたくさんのことを学びました。特に1、2年生の時に取り組んだ探究科での経験は、今の自分の糧となっています。探究科は、調べた内容を書き写すだけの学習とは大きく異なり、自ら立てた問いに、答えにつながる要素を関連づける行為の連続です。私は、難病の母がヘルプマークを着用したくないと話していたことをきっかけに、だれもが使いやすいヘルプマークについて探究しました。探究していく過程で、多くの壁に直面しましたが、その過程にこそ、探究学習の本当の価値があったのだと気づきました。また、全国学芸サイエンスコンクール入選をいただいたことで、大人にも認められるような探究ができたのだという自信につながりました。探究科で大きく成長した、問いを立てて考える力は、これから私を支えてくれることでしょう。この力を活かして、これから先の学校生活や就職にも活かしていきたいです。

問いから始まる探究科の学び



慶應義塾高等学校

穀野 琉聖さん

吉祥寺学園中等部での3年間、私は生徒会長として活動してきました。生徒会では、生徒一人ひとりの声に耳を傾けながら、学校生活をより良くするために何が出来るかを仲間と考え、形にしてきました。行事の運営や日々の課題に向き合う中では、意見がぶつかり、悩むことも少なくありませんでした。それでも、話し合いを重ねる中で新しい考えに気づかされたり、よりよい答えにたどり着けたりした経験は、今でも強く心に残っています。また、多くの人に支えられていることを実感し、協力することの大切さや責任の重さも学びました。これから入学される皆さんも、自分の考えを大切にしながら仲間と関わり、さまざまなことに積極的に挑戦してみてください。この3年間で、きっとかけがえのないものになると思います。皆さんのこれからの学校生活が実り多いものとなることを心から願っています。

対話が育む生徒会活動

吉祥寺学園 INTERNATIONAL SCHOOL

「自分の頭で考える」力

偏差値70以上の高校にクラスの半数近くが合格するという圧倒的な進学実績。その背景にあるのが、本校が何より注力している「自分の頭で考える」力の育成です。私たちは、常識を疑う深い思考力を養い、世界水準の大学が求めるクリティカルシンキングの基盤を築いてまいります。

さらに来年度には、新たにインターナショナルスクール初等部が誕生します。今後、中等部以降も順次開設を予定しており、世界のリーダーを育む一条校インターナショナルスクールによる先進的な12年間一貫教育の環境がいよいよ本格的に始動します。こうした世界を見据えた環境の中で、私たちが特に重視しているのが真の「協働」です。それは単なる仲良しの共同作業ではありません。多様な個性を持つ生徒たちが、共通の目的に向かって個々の強みを発揮し、互いの弱みを補い合うことで、一人では到達できない「最適解」を具現化することです。単に対話を重ねるだけでなく、それをいかに実行に移し、どんな価値を生み出せるかという「実践」こそが学びの本質です。グローバル社会の多様性の中で、従来の枠にとらわれない新たな価値を創造するために。生徒たちには、この環境で培った「自分の頭で考える」力を存分に発揮し、自らの手でこれからの「最適解」を形にして示してくれることを、日々大いに期待しています。

吉祥寺学園中等部

部長

吉祥寺学園インターナショナルスクール

Head of School

林 武宏

MESSAGE FROM PRESIDENT

吉祥寺学園初等部 インターナショナルスクール/国際コース KICHIJOJI GAKUEN INTERNATIONAL SCHOOL

吉祥寺学園は、都内でも稀有な一条校(小1~高3)のインターナショナルスクール開設に加え、大きな反響を受けて新たな柱となる「国際コース」の新設を決定しました。両コースはアプローチこそ異なるものの、共に「CEFR B1」レベルを目標に掲げ、施設や行事をすべて共有するワンキャンパスで一体運営されます。これからの時代を生き抜く真の国際人を育てていきます。

2027年開設

- 学校教育法第一条に定める「一条校」
- 初中高一貫校

学校教育法第一条に基づく正規の学校として、小・中学校の義務教育課程を着実に履修いたします。

その後、高等専修部(高校卒業と同等の資格を取得でき、国内外の大学受験が可能)と一貫したインターナショナルスクールを2027年、初等部から開設予定です。



2026 年度 学校説明会・イベント日程

※学校説明会とイベントはそれぞれ別にお申し込みが必要です。

2026

学校説明会・オープンスクール

7/18 (土) 14:00 ~ 16:00

部活体験・見学会

9/19 (土) 14:00 ~ 16:00

部活体験・見学会

10/3 (土) 14:00 ~ 16:00

サイエンス探検隊 (10 名) 英語イメージ体験 (5 名) 部活体験

11/7 (土) 14:00 ~ 16:00

サイエンス探検隊 (10 名) 英語イメージ体験 (5 名) 部活体験

学校説明会・入試対策講座

12/5 (土) 13:40 ~ 16:15

適性検査型 入試の解説とステップアップテスト

6 年生対象

● 13:20 ~ 「出題のねらい」・講座

12/19 (土) 14:30 ~ 16:15

2 科型 入試の解説とステップアップテスト

6 年生対象

● 13:45 ~ 「出題のねらい」・講座

2027

学校説明会・入試対策講座

1/9 (土) 14:30 ~ 16:15

2 科型 入試の解説とステップアップテスト

6 年生対象

● 13:45 ~ 「出題のねらい」・講座

入試情報

入試日程などはこちらからご確認ください。



スクールツアー

[平日 16 時 ~ 17 時]

5・6 年生と保護者対象

ご予約はHP
または
こちらのQR
コードから

陸上クリニック

[5/13、6/24、10/14、11/18]

4・5・6 年生対象



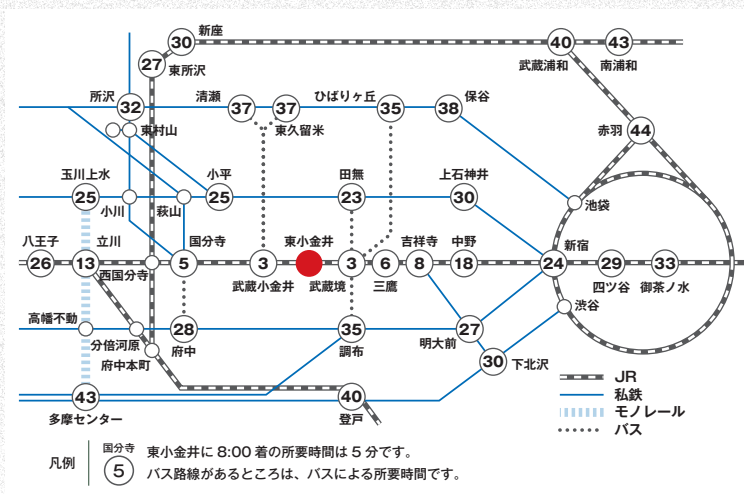
最新情報は HP・SNS などをチェック！



HP TOP ページ▶



吉祥寺学園中等部
東小金井駅北口より
徒歩 約 7 分



吉祥寺学園中等部

〒184-0003 東京都小金井市緑町 2-6-4

<https://www.k-g.ed.jp/chugaku/>